

「西東京市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における 地方創生加速化交付金事業について

1. 地方創生加速化交付金事業について

平成 27 年度に、総合戦略の策定や総合戦略に位置付けた各種事業の推進を目的として、「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）」が創設され、平成 28 年度には、更に地方創生を加速させるべく「地方創生加速化交付金」が創設された。

2. 事業の検証について

地方創生のために創設された地方創生加速化交付金の対象事業については、制度要綱第 3 の規定において、事業実施に伴う効果について重要業績評価指標を設定の上、その達成度合いの効果を検証し、報告することとなっている。

そのため、本市が実施した交付金活用事業（1 事業）の検証を行う。

3. 検証体制について

交付金活用事業の検証に当たっては、重要業績評価指標（K P I）や事業効果等について、外部有識者等からの意見を踏まえた検証が必要となる。そのため、総合計画策定のための機関である、「総合計画策定審議会」の各委員から意見を伺い、行政外部の視点を踏まえた効果の検証とする。

4. 検証方法について

検証方法は、事業評価シートに基づき「A～E の検証項目」における内部評価（担当部署による評価）を実施し、「総合計画策定審議会」による意見等を踏まえ、庁内検討を経て、最終的な総合評価とする。

5. 検証対象事業（対象事業：1 事業）

事業名：SHITANOYA ブランドエリア構想事業

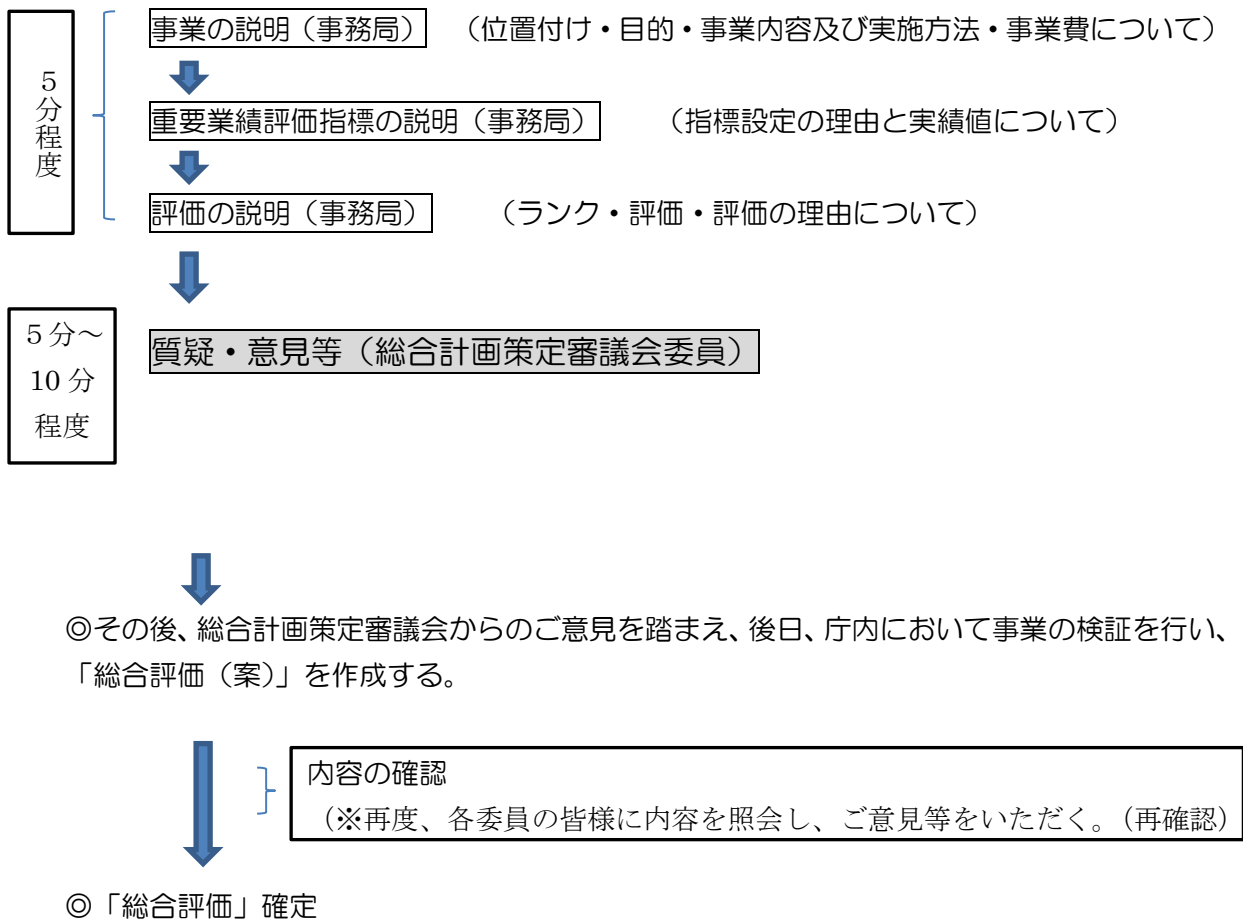
総 額：53,204 千円

（単位：千円）

事業名		事業費	所管部署
SHITANOYAブランドエリア構想事業		53,204	
事業	下野谷遺跡関連ホームページ作成委託	999	秘書広報課
	ガイドブック作成委託	1,598	
	広告作成・印刷	1,156	
	鉄道車内掲出	3456	
	下野谷遺跡地域活性化事業委託	1998	産業振興課
	下野谷遺跡デジタルコンテンツ等作成委託	39,997	社会教育課
	下野谷遺跡地域資源活用事業委託	4,000	

6. 今回の評価の流れ

評価の流れは、以下となります。



地方創生加速化交付金事業評価シート

1.基本項目

事業名		SHITANOYAブランドエリア構想事業					
総合戦略の位置付け	基本目標	まちを楽しみ、まちの良さを高める	所管課名	秘書広報課、産業振興課、社会教育課			
	施策	いいね！と評価できる魅力づくりと情報発信	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他			
事業目的		<p>「下野谷遺跡」は、西東京市の地域資源であり、平成27年に国史跡に指定された貴重な文化遺産である。都心に最も近い縄文探訪エリアである「下野谷遺跡」を、周辺地域と連携させた地域活性化事業として、下野谷遺跡のプロモーション及び市内外からの交流人口の増加を目的とし実施する。</p> <p>下野谷遺跡周辺地域における地域活性化事業によって、自らが住むまちの歴史や文化財の魅力を再認識する機会とし、地元意識の醸成を図るとともに、下野谷遺跡のさらなる注目度の向上により新たな集客や地域産業の活性化に繋げる。</p>					
事業内容実施方法		<p>(1) 【西武鉄道車内広告事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○西武新宿線及び池袋線の車両に、中づり広告を掲出し、下野谷遺跡のPRを図る。 ・実施時期：8/29～9/11、11/17～11/30、2/20～3/5 ・掲出期間：14日間（1サイクル）×3回 ・広告形状：B3（縦364mm×横515mm）×2種、B3ワイド（縦364mm×横1,030mm）×1種 ・印刷枚数：7,560枚×3回 合計22,680枚 <p>(2) 【下野谷遺跡関連ホームページ作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人旅行者や市内外の在住外国人向けに、自国語でのWEB検索に対応した内容のホームページコンテンツを追加作成 ・下野谷遺跡の紹介を中心に、本市の地域資源を紹介 ・4言語対応（英語・韓国語・簡体字中国語・繁体字中国語） <p>(3) 【西東京市ガイド作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人旅行者向けのガイドブックを作成 ・4言語対応（英語・韓国語・簡体字中国語・繁体字中国語） ・和をモチーフ（和柄・四季写真）・ミウラ折り・QRコードで市ホームページと連動 ・東京観光情報センター5か所に設置（都庁・バスタ新宿・羽田空港・京成上野駅・エキュート立川） <p>(4) 【回遊型イベント事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○JOMON QUEST ・下野谷遺跡に関するクイズ等を各ポイント（7つ）でクリアし、下野谷遺跡公園にゴールするルートで「まちあるき」イベントを実施。 ・地元商店会及びスポーツクラブと連携（スタッフ配置・飲食物等の販売） ・下野谷遺跡公園での「縄文の森の秋祭り」と連携し、事業効果を向上させた。 ○イベントの周知 ・下野谷遺跡をPRするチラシの作成（1,000枚）及び配布 ・YouTubeの西東京市動画チャンネルでPR動画を公開 ○イベント啓発グッズの作成 ・イベント参加者に配布するグッズを作成 ・市内産農産物等の提供 <p>(5) 【下野谷遺跡デジタルコンテンツの制作】</p> <p>タブレット端末を利用した下野谷遺跡に関連する高精細CG等を制作。当時の生活を復元した映像、画像、音声等により可視化させ、解説を加えることにより、遺跡の価値と魅力を分かりやすく伝える。また、市内外を問わずより多くの方々にデジタルコンテンツを利用していただくため、スマートフォン用アプリを制作した。なお、訪日外国人向けに多言語（日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語）対応とした。</p> <p>(6) 【下野谷遺跡活用事業】</p> <p>下野谷遺跡周辺地域と連携した地域活性化事業として、地元商店（東伏見駅・西武柳沢駅周辺）による下野谷遺跡関連商品の開発・販売を行った。（下野谷遺跡キャラクター「シーた」「の一や」や縄文時代の生活・出土品等に関連するものを作製）実際の開発・販売などは個々の商店が行い、市は開発のための情報提供や商品のPRなど側面的な支援を行った。</p>					
事業費 (単位:千円)			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		事業費	53,204				
		財源内訳	交付金	53,204			
			地方債				
			その他				
一般財源							

地方創生加速化交付金事業評価シート

2.重要業績評価指標

評価指標名		評価指標値	実績値
1	東伏見駅・西武柳沢駅を利用して、本市に訪れる人の数（2駅の乗降客数）	乗降客数100,000人／年増（平成26年度比）	377,775人
評価指標の考え方		市内には5つの駅があり、鉄道は他の公共交通機関と比べて年間利用客数が多い。そのため、市内外へ向けた魅力発信事業による効果を測る指標として、下野谷遺跡の最寄り駅である2駅の乗降客数の100,000人増加（年間）を評価指標とした。	
評価指標名		評価指標値	実績値
2	下野谷関連商品の開発数	3商品	5商品
評価指標の考え方		まちの魅力を伝えるには共感いただける人を増やすことが重要である。そのため、普及啓発による効果を期待し、魅力を伝える手段となる商品の開発数を評価指標とした。	
評価指標名		評価指標値	実績値
3	下野谷関連商品の販売数	3商品	5商品
評価指標の考え方		まちの魅力を伝えるには共感いただける人を増やすことが重要である。そのため、普及啓発による効果を期待し、魅力を伝える手段となる商品の販売数を評価指標とした。	

3.評価

検証項目		ランク	評価	評価説明・判断理由
A	事業の優先度	2	<input checked="" type="checkbox"/> 事業が効果的であったことから取り組みの追加等、更に発展させる <input type="checkbox"/> 事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	【事業の優先度】 平成27年に国史跡に指定されたが現時点で具体的な成果が見られない中、“地域資源”としての活用について総合戦略に位置付け地域創生加速化交付金を活用する事業としては優先度が高い。 【事業の必要性】 本取組は、埋蔵文化財である下野谷遺跡を可視化するものであり、学校教育・生涯学習への活用ができる。鉄道車内広告とHP作成と回遊型イベント事業は広く一般への普及・啓発、地域活性化に資するサービスである。 【実施主体の妥当性】 地域に存在する遺跡の価値や魅力を普及・啓発するための取組であり、当面は市が実施するものとする。商品開発は地域の各店舗が実施し、市はPRなどの側面支援とした。イベントについては、地域団体や商店会との連携により実施した。
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方	3	<input type="checkbox"/> 特に見直しをせず事業を継続する	【直接のサービスの相手方】 すべての市民が対象となる。 【事業内容の適切さ】 先行型事業において実施した内容を踏まえ、車内広告の掲載方法や掲出時期などについて事業内容の見直しを図っている。 【受益者負担の適切さ】 本事業は、国の交付金を活用した事業として実施しており、100%市が負担すべきである。 【市民ニーズの把握】 文化財保存・活用計画策定時の市民意識調査、各種イベント実施時のアンケート、地元商店会等との調整等によりニーズの把握を行っている。
	事業内容の適切さ	2		
C	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 継続的な事業実施を予定していたが中止した <input type="checkbox"/> 当初予定通り事業を終了した	【事業の効果】 全体的には市内外からイベント等への新規参加者などが見られ、市のPR効果は大きかったと考える。今後も継続した取組による効果を期待するものである。 【成果指標の適切さ】 地域活性化という面からは妥当な指標であると考えられる。 【計画に対する貢献度】 貢献度は極めて高い事業と判断する。
D	市民ニーズの把握	2		
E	事業の効果	3		
	成果指標の適切さ	3		
	計画に対する貢献度	2		

総合評価	A : 達成 B : おおむね達成 C : 未達成

地方創生加速化交付金事業評価(事後評価) 判断基準

項目	ランク	判断基準
事業の優先度 (緊急性)	3	財政難の中、他の事務事業より優先的に実施すべき事業である。
	2	今後、しばらくの間、継続して実施する必要がある。
	1	目的をある程度達成しているため、実施の有無について検討の余地がある。または、他の事業より優先度が低い。
事業の必要性	3	市民等の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである。または、安全・安心・健康な市民生活の水準維持に不可欠なサービスである。
	2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである。
	1	目的をある程度達成しているため、実施の有無について検討の余地がある。
実施主体の妥当性	3	市域内において、民間やNPO等他の団体が同種のサービスを提供している例がなく、市が主体となって実施する必要がある。
	2	民間やNPO等他の団体が同種のサービスを提供しているが、質や量など総合的に勘案し、現段階では市が主体的に実施する必要がある。
	1	民間やNPO等他の団体が同種のサービスを提供し、質や量など総合的に勘案し、市が主体となっていく必要性が高くない。
直接のサービスの相手方	3	すべての市民がサービスの直接の対象である。
	2	特定属性の不特定多数の市民・団体がサービスの直接の対象である。
	1	自ら希望する一部の市民・団体がサービスの直接の対象である。
事業内容等の適切さ	3	事業内容等を毎年度見直し・改善を行っている。または、現段階でこれ以上の改善の余地がないと思われる。
	2	過去に事業内容等を見直し・改善を行ったが、まだ改善の余地があると思われ、近い将来、再度見直しを検討する必要がある。
	1	事業当初から同じ内容や手段で実施しており、特段改善を行っていないため、今後、事業内容等の見直し・改善を行う必要がある。
受益者負担の適切さ	3	適正な受益者負担を行っている。または、本サービスは100%市が負担すべきものである。
	2	現在、受益者負担の原則を導入しているが、社会情勢や他市の状況等総合的に勘案し、見直しを検討する必要がある。
	1	受益者負担の原則を導入しておらず、今後、社会情勢や他市の状況等総合的に勘案し、見直しを検討する必要がある。
市民ニーズの把握	3	定期的に市民調査を行うなど市民ニーズの把握に努めており、十分に把握している。
	2	市民ニーズの推測が可能またはある程度の把握をしておき、推測に見合ったサービスである。
	1	市民ニーズの推測が難しいものであるが、ここ2,3年の間、市民調査等を行っておらず、市民ニーズの把握が不十分、またはニーズの把握が曖昧で説明が難しい。
事業の効果	3	本事業は地方創生に対して、実績が目標とした指標を上回るなど全体的には効果的であった。
	2	本事業は地方創生に対して、実績が目標とした指標を上回ることにはなかったものの相当程度効果があった。または、事業開始前よりも事業改善が見られた。
	1	本事業は地方創生に対して、効果は無かった。
成果指標の適切さ	3	事業全体の成果を測る上で、指標としては適切である。
	2	成果指標としては適切とまでは言えないが、他に適当な指標が見当たらない。
	1	他の成果指標の方が、適切である。
計画(総合戦略)に対する貢献度	3	目標達成に向けては、当該事業の貢献度は極めて高い事業である。
	2	目標達成に向けては、当該事務事業が相応に貢献する事業である。
	1	目標達成に向けては、見直しが必要な事業であり、他の方法も検討する必要がある。

地方創生加速化交付金事業説明資料

事業名	SHITANOYAブランドエリア構想事業			
総合戦略の位置付け	基本目標	まちを楽しみ、まちの良さを高める	所管課名	秘書広報課、産業振興課、社会教育課
	施策	いいね！と評価できる魅力づくりと情報発信	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他

(1)【西武鉄道車内広告事業】

○西武新宿線及び池袋線の車両に中吊り広告を掲出し、下野谷遺跡をPR

下野谷遺跡関連の既存事業及び今回の交付金事業を広告に取り上げ、市外からの来訪客を増やすとともに、市域外の人たちへの西東京市と下野谷遺跡の認知度アップを図った。

・実施時期

平成 28 年 8 月 29 日～平成 28 年 9 月 11 日
 平成 28 年 11 月 17 日～平成 28 年 11 月 30 日
 平成 29 年 2 月 20 日～平成 28 年 3 月 5 日

・掲出期間

14 日間（1 サイクル）× 3 回

・広告形状

B 3 （縦 364mm×横 515mm）× 2 種
 B 3 ワイド（縦 364mm×横 1,030mm）× 1 種

・印刷枚数

7,560 枚× 3 回 合計 22,680 枚

掲出イメージ



中吊り広告デザイン



B3



B3ワイド

(2)【下野谷遺跡関連ホームページの作成】

○下野谷遺跡関連ホームページの作成

東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に向けて、多くの外国人が東京を訪れることが予想される。外国人が西東京市を訪れるきっかけとするため、「国史跡下野谷遺跡」に特化した自国語でのWEB検索に対応した内容のホームページコンテンツを作成し、インターネットを介した情報発信を行った。

- ・下野谷遺跡を中心に、本市の地域資源を紹介
- ・4言語対応（英、韓、簡体字・繁体字中国語）

ホームページ画面イメージ

国史跡 下野谷遺跡

英語 (English)

Welcome to this national historic site, the Shitanoya site, where you can experience the origins of Japanese sentiments of the Jomon period in Metropolitan Tokyo.

▶ Welcome! Here you will find information about the Shitanoya site, a national Japanese treasure. We await your visit!

中文(簡体字)

欢迎来到大都会东京的国家历史遗迹下野谷遗址，感受日本人精神世界的原点——绳文时代！！

▶ 欢迎欢迎！向大家隆重介绍日本的瑰宝——下野谷遗址，热情欢迎前来参观！

中文(繁体字)

歡迎來到大都會東京的國家歷史遺跡下野谷遺址，感受日本人精神世界的原點——繩文時代！！

▶ 大家好！我們將為您介紹日本的瑰寶下野谷遺址。歡迎您前來參觀！

韓国語 (한국어)

메트로폴리탄 도쿄에서 일본의 마음의 원점인 초문 시대를 체험할 수 있는 곳, 국가 사적 시타노야 유적으로 아시 오세요!!

▶ 이치 오세요!! 일본의 보물, 시타노야 유적을 소개합니다. 꼭 많이 주세요!

(3)【西東京市ガイド作成】

○西東京市ガイド作成

外国人旅行者が東京を訪れることが予想される。その外国人が西東京市を訪れたときに市内を回遊しやすいよう、西東京市ガイドブックを作成し、都内観光案内所等へ設置した。

- ・4言語対応（英、韓、簡体字・繁体字中国語）
- ・和をモチーフ、ミウラ折り、QRコードで市ホームページと連動
- ・東京観光情報センター5箇所設置（都庁、バスタ新宿、羽田空港、京成上野駅、エキキュート立川）

西東京市ガイド



(4)【回遊型イベント事業】

○JOMON QUEST

- ・下野谷遺跡に関するクイズ等を7つのポイントでクリアして、下野谷遺跡公園にゴールするルートで「まちあるき」イベントを実施した。
- ・地元商店会及びスポーツクラブとの連携により、当該イベントを盛り上げるため、クイズポイントでのスタッフ配置及びゴール会場での飲食物等の販売を実施。
- ・下野谷遺跡公園で開催した「縄文の森の秋祭り」との連携により、事業効果を向上させた。

○イベント周知

- (1) 下野谷遺跡をPRするチラシの作成
(1,000枚)及び配布
- (2) YouTubeの西東京市動画チャンネルでPR動画を公開

○イベント啓発グッズ作成

- (1) イベント参加者に配布するグッズ作成
- (2) 地元商店会と連携した関連食品等の開発及び提供
- (3) 市内産農産物等の提供

【事業実績】

- (1) 実施日時
平成28年10月9日(日)
午前10時から午後1時まで
(その後、秋祭りへ参加)
- (2) 実施場所
下野谷遺跡公園周辺
- (3) 参加人数
 - ①参加者数 31組90名
 - ②居住地 市内46名 市外44名※募集人数150名(応募数:264名)
(降雨によるキャンセル有)

下野谷遺跡公園の周辺のチェックポイントを回る様子



ゴール地点で参加記念品を渡している様子



(5)【下野谷遺跡デジタルコンテンツの制作】

○下野谷遺跡デジタルコンテンツの制作

都市部に良好に残されている「下野谷遺跡」について、高精細CG等によって復元した映像、画像、音声等で可視化、解説することにより、遺跡の価値と魅力を分かりやすく伝えるためのコンテンツを作成。

また、市内外を問わずより多くの方々にデジタルコンテンツを利用させていただくため、スマートフォン用アプリを併せて制作。また、外国人観光客を市内に取り込むための取組みとして、多言語（日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語）対応としている。

1 完成披露イベント「VRで下野谷遺跡を大冒険！！」の開催

(1) 実施日時

平成 29 年 3 月 26 日（土）

11時から15時30分

(2) 実施場所

東伏見小学校体育館

（雨天のため下野谷遺跡公園から変更）

(3) 内 容

①専用タブレットを利用したVRコンテンツの体験

②地元商店会などで開発・販売する下野谷遺跡関連商品の紹介

③地元小学校学習成果発表や地域団体によるアトラクション

(4) 参加人数

①参加者数 293人

②居住地 市内63.0% 市外37.0%

2 スマートフォン用アプリの配信開始について

下野谷遺跡の普及啓発及び地域活性化を目的として、市内外を問わずより多くの方々に利用させていただくため、「VR下野谷縄文ミュージアム」のスマートフォン用アプリの配信（無料）を開始



する。

- (1) 開始日
平成 29 年 4 月 24 日 (月) から
- (2) 方 法
市ホームページから専用ページに遷移し、アプリをダウンロードする。
- (3) 内 容

①下野谷ムービー

(下野谷遺跡解説映像、約 12 分)

②縄文バーチャル探索

(GPSにより下野谷遺跡公園で使用可能)

- i 空からみた「したのやムラ (VRジャンプ)」
 - ii ムラの生活
 - ア) したのやムラの 360° パノラマビュー
 - イ) 竪穴住居内の 360° パノラマビュー
 - iii 森めぐみ (狩猟・採集のCGムービー)
 - iv 川を使った交易 (交易の様子CGムービー)
- ※ii～ivには、それぞれ解説、クイズ、出土遺物のCG等があります。

スマートフォン用アプリ画面



下野谷ムービー



(6)【下野谷遺跡活用事業】

○下野谷遺跡活用事業

下野谷遺跡と周辺地域とを連携させた地域活性化事業として、地元商店（東伏見駅・西武柳沢駅周辺）による下野谷遺跡関連（下野谷遺跡キャラクター「しーた」「のーや」や縄文時代の生活・出土品等に関連するもの）商品の開発・販売を実施。開発・販売は個々の商店が行い、市は開発のための情報提供や商品のPRなど側面的な支援を行った。

また、前記5【下野谷遺跡デジタルコンテンツの制作】と商品をPRするため、下野谷遺跡公園においてイベントを開催し、広く周知した。

VRによって下野谷遺跡の周知及び現地への人の流れの創出を行い、関連商品を紹介することで地域の活性化に寄与する。また、店頭の下野谷遺跡関連商品が並ぶことにより、下野谷遺跡を知ってもらうきっかけとなる。

